



こども建設探検隊が行く! 平瀬ダム 建設現場



高原さやちゃん、高原せとくん、藤本大雅くん、藤本悠来ちゃん
平瀬ダム
山口県 岩国市

やまぐち
けんせつ
せつ
新聞
第2号
平成29年1月

山口県の建設業の魅力を発信!
「やまぐちけんせつ新聞」は、みんなの身近なところにあるけれど、あまり知られていない建設業の役割や魅力などを紹介していく新聞です。

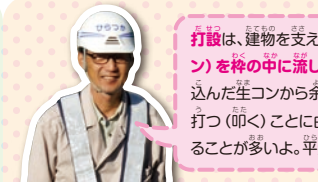
平瀬ダム建設現場



▲完成するとこんな感じになるんだって!

ダム完成までの年数はなんと48年!
33(2021)年度なんだ。ダムの建設工事には、長い時間がかかるんだね。

みんなの生活を守るダム
今回、平瀬ダム建設現場を探検するのは、藤本悠来ちゃんと藤本大雅くん、高原せとくんと高原さやちゃんの4人。4人は、現場代理人の平塚さんから、ダムの役割を学び、コンクリートを流し込む「打設」と呼ばれる作業を見学してきましたよ。



▲打設は、建物を支える基礎を造るために、生コンクリート(生コン)を枠の中に流し込むことだよ。「打設」という言葉は、流し込んだ生コンから余分な空気や水を追い出すために、棒などで打つ(叩く)こと由来するんだ。今は、棒よりも機械で作業することが多いよ。平瀬ダムの生コン打設の流れを説明するね。

打設ってどんな作業なの?
打設は、建物を支える基礎を造るために、生コンクリート(生コン)を枠の中に流し込むことだよ。「打設」という言葉は、流し込んだ生コンから余分な空気や水を追い出すために、棒などで打つ(叩く)こと由来するんだ。今は、棒よりも機械で作業することが多いよ。平瀬ダムの生コン打設の流れを説明するね。



▲この建物の中で生コンが作られているんだよ



▲バケットをケーブルクレーンで運んで...



▲作った生コンをバケットという入れ物に入れるよ



▲この建物の中で生コンが作られているんだよ



▲バケットの底が開いて、枠の中に生コンを流し込むよ



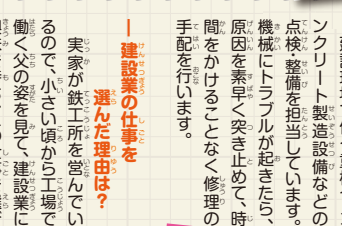
▲この建物の中で生コンが作られているんだよ



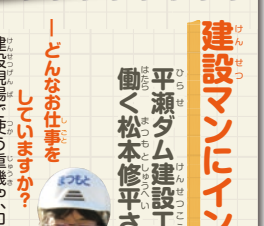
▲この建物の中で生コンが作られているんだよ



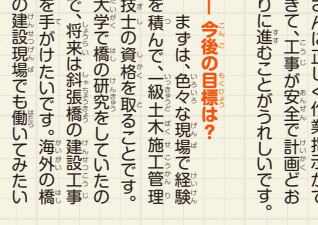
▲この建物の中で生コンが作られているんだよ



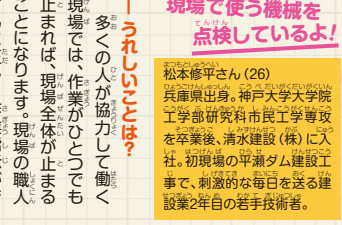
▲この建物の中で生コンが作られているんだよ



▲この建物の中で生コンが作られているんだよ



▲この建物の中で生コンが作られているんだよ



▲この建物の中で生コンが作られているんだよ



▲この建物の中で生コンが作られているんだよ

現場代理人の平塚さん
ダムにはどんなはたらきがあるの?
ダムには、大きく分けて4つのはたらきがあるんだよ。

1 洪水調節
台風や大雨の時、水を一度ダムにためて、ダムから流す水の量を調節することで、下流地域の洪水の被害を小さくするんだ。

2 かんがい用水などの補給
農作物が育つのに必要な水を安定的に供給するために、川に流す水の量を調節するよ。水道用水や工場で使う水も補給するんだ。

3 河川環境の保全
魚や水辺で暮らす動物たちが住みやすい環境を作るために、水の量を調節して、美しい川の流れを保っているんだよ。

4 発電
水が流れる力で水車を回して電気を作る水力発電は、経済的で安定した電気を作り出すことができる自然エネルギーなんだ。

見学を終えた隊員たちは...
「工事現場の大きさにビックリした。ダムは水をためるだけじゃなく、多くはたらきがあるんだね。」と感心した様子。みんなが毎日安心して水を使うことができるのもダムのおかげなんだ。そしてそのダムの建設に多くの人が関わっていることを忘れては、水は大事に感謝して使うようにしようね。

けんせつトリビア ダムカード
みんなはダムカードって知ってる? ダムカードには、ダムの写真はもちろん、ダムの種類や高さ、完成年などのデータがくわしく載っているんだ。
「建設中」の文字が入っているレアカードをゲット!
カードは、国土交通省と水資源機構が管理するダムをはじめ、一部の都道府県や発電事業者の管理するダムでも作っていて、ダム管理事務所などで配布されているよ。全国で555種類もあって、山口県には23枚のダムカードがあるんだって! (※平成28年10月1日現在)

建設マンにインタビュー
平瀬ダム建設工事の現場で働く松本修平さんに聞きました!
「建設業の仕事って、どんなお仕事をしているんですか?」
「建設現場で使う重機や、コンクリート製造設備などの点検・整備を担当しています。機械にトラブルが起きたら、原因を素早く突き止めて、時間をおかずにこまめに修理の手配を行います。」
「建設業の仕事って、どんな理由で選んだんですか?」
「家々が鉄工所を営んでいるので、小さい頃から現場で働く父の姿を見て、建設業に興味を持ちこの仕事を選びました。」
「今後の目標は?」
「まずは、色々な現場で経験を積んで、一級土木施工管理技士の資格を取ります。大学で橋の研究をしていたので、将来は斜張橋の建設工事を手がけたいです。海外の橋の建設現場でも働いてみたいです。」
現場で使う機械を点検しているよ!
松本修平さん(26)
兵庫県出身。神戸大学大学院工学部研究科市民工学専攻を卒業後、清水建設(株)に入社。初現場の平瀬ダム建設工事で、刺激的な毎日を送る建設業2年目の若手技術者。